

2019年度（平成31年度） 公社事業の概要

○ 2019年度事業運営について

当社は、2011(平成 23)年度に年間返済額の平準化を図るため、市中銀行から経営安定化資金を借入し、既存債務の繰り上げ返済をするとともに、以降の毎年度返済額を平準化したことから、2017(平成 29)年度から 2021(平成 33)年度までの5年間は残債のピークを迎え、償還金額は毎年度 10 億円前後に達し、収入見込み額の4割近くになることから、この間は支出額が収入額を上回る状況が続き、2019(平成 31)年度も同様の予算編成となります。

そのため、2016(平成 28)年度までに手持ち資金を 14 億 1 千万円確保し、2019(平成 31)年度期首では、9 億 8 千万円まで減少し、2021(平成 33)年度末には、1 億 6 千万円まで圧縮される予定ですが、その後は償還がなくなることから回復する予測を立てています。

このような中であっても 2017(平成 29)年 3 月に策定した「中期経営計画」の4つの基本方針である「安全安心な施設・設備の充実」、「地域と連携した利用促進策の推進」、「お客様へのサービスの充実」及び「経営基盤の強化」のための取組を着実に推進していきます。

また、ネットワーク型 ETC システムの導入検討については、県とともに関係機関との調整を進め、検討のための予算を計上しました。

このほか、SDGs への取組としては、道路施設照明等の LED 化によりエネルギーへの取組、真鶴道路の耐震補強、災害・緊急時対策等により気候変動への取組などを行っていきます。

1 有料道路事業

管理する4路線の有料道路については、通常の点検、維持修繕に加え施設の長寿命化のための取組を行うとともに、自然災害に備えた対策を、また、キャッシュレス化への対応のため、ネットワーク型 ETC 導入に向けた検討を引き続き実施していきます。

(1) 真鶴道路

お客様に安心してご利用していただくため、昨年7月の台風12号の接近に伴う高潮等による被害を受けたことを踏まえ、自然災害の防止・軽減のための「福浦インター高波防護擁壁工事」を実施します。

また、これと併せて「福浦インター高波監視カメラ設置工事」や、より正確な気象観測データ収集のため「気象観測局更新工事」を実施します。



「福浦インター高波防護擁壁工事」施工箇所

(2) 本町山中有料道路

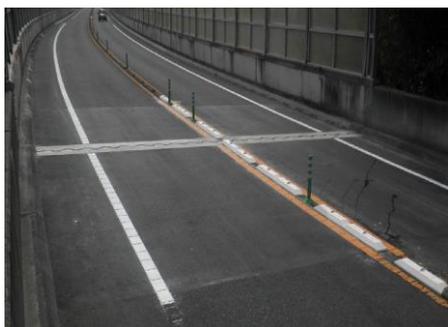
2022年3月に料金徴収期間が満了になる事から、これに向けた準備を進めてまいります。



本町山中有料道路 料金所

(3) 三浦縦貫道路

安全で快適な走行環境の維持のため、「橋梁伸縮装置補修工事」を実施します。



橋梁伸縮装置補修工事

(4) 逗葉新道

「第 32 回オリンピック競技大会（2020/東京）」「東京 2020 パラリンピック競技大会」に向けた国の取組みとして、道路のナンバリング表示や英語表記がある分かりやすい道路案内標識の整備が進められており、これに伴い「標識板更新工事」を実施します。

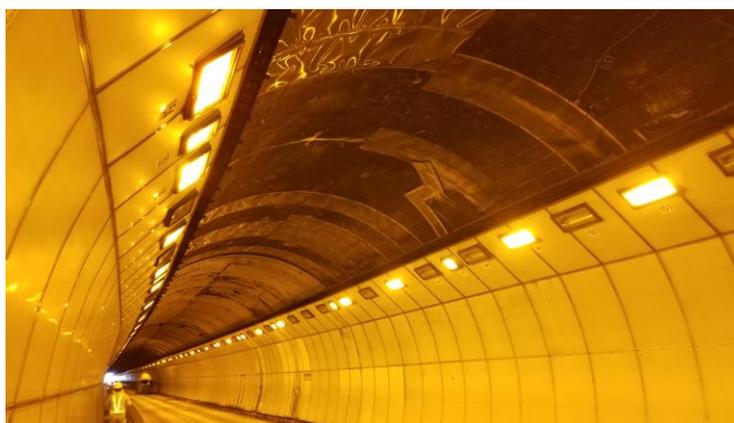


逗葉新道 既存標識板

(5) 4 路線

道路法に基づく点検・診断の一巡目（5 年間）完了に伴い「道路施設長寿命化修繕計画・道路維持管理計画（改訂版）策定業務委託」を全ての路線にて実施します。

トンネル照明設備のナトリウム灯から LED 化更新等において、次年度は優先順位により真鶴道路及び逗葉新道で「道路トンネル照明設備更新予備設計業務委託」を実施します。



逗葉新道トンネル ナトリウム灯

当会社では SDGs（持続可能な開発目標）の推進-目標 7「すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。」を、道路施設照明等の LED 化により、積極的に取り組んでいます。



2 駐車場事業

葉山町の長者ヶ崎駐車場において、点検の結果、劣化を確認した照明灯 2 基を LED 照明灯に更新設置し、お客様の安全と利便性と、省エネルギー化や環境負荷の低減を図ります。



長者ヶ崎駐車場 料金ブース照明灯

3 神奈川県からの受託事業

真鶴道路における道路施設の防災、長寿命化対策として、従前から進めているトンネル大規模修繕工事（はく落防止等）を引き続き実施し、安全度の向上を図ります。



道路災害防除工事 施行中



道路災害防除工事 完成

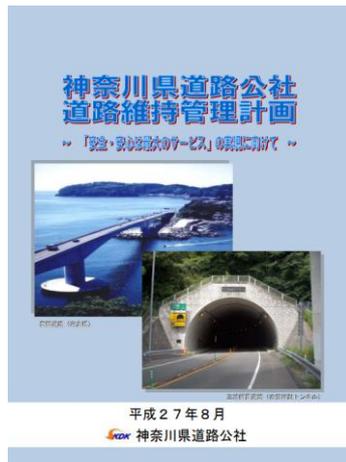
4 長期借入金の償還

道路建設に係る国及び県等からの長期借入金を計画に基づき着実に償還します。

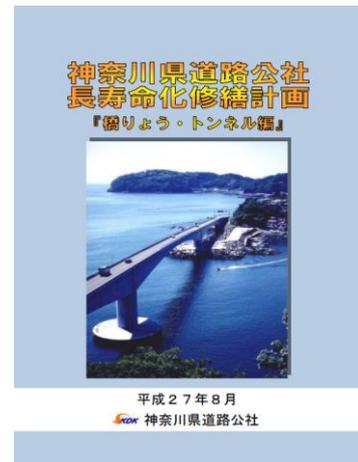
5 中期経営計画の取組み

(1) 安全・安心な施設・設備の整備

平成27年度に策定した「道路維持管理計画」と「長寿命化修繕計画」により見直しを行った道路施設等維持修繕5か年計画に基づき、引き続き計画的な補修及び効率的な維持管理に取り組むと共に、これらの計画の改訂を実施します。(再掲)



(道路維持管理計画)



(長寿命化修繕計画)

(2) 地域と連携した利用促進策の推進

平成27年度に当公社を含む、伊豆・箱根・西湘地区の有料道路会社7社で立ち上げた利用促進連絡協議会を通じて、引き続き西湘、箱根、伊豆地域におけるスタンプラリーを開催します。このイベントは前回から、スマートホンからの応募となりました。

また、県や地元自治体と連携して、地元観光施設等との提携を進めることにより有料道路及び駐車場の利用促進を図ります。



「2019 伊豆・箱根ぐるっと満喫スタンプラリー」パンフレット

(3) お客様へのサービスの充実

ア 逗葉新道において「管理事務所大規模修繕工事」を実施し、地域の環境に配慮した外壁塗装を行い、施設と地域の一体感を図ります。

また、公社ホームページ上で道路状況の把握ができるように、逗葉新

道でライブカメラを設置し、情報提供の充実化によりサービスの向上を図ります。

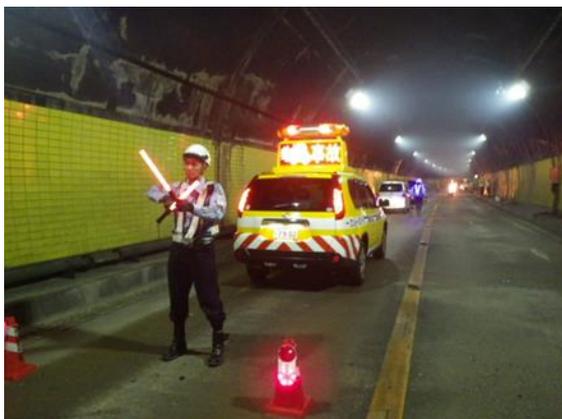


逗葉新道 管理事務所

イ 県西地域において毎年秋に実施されている、「県西地区三消防署合同消防訓練」は、2019年度については、真鶴道路の真鶴トンネル内での多重事故発生を想定した訓練が実施される予定です。

これに伴い、新た試みで訓練開催地として、同道路の昼間通行止め等による湯河原町消防本部（訓練当番）への協力を予定しています。

また、この訓練状況を地域の皆様に公開することを予定しています。



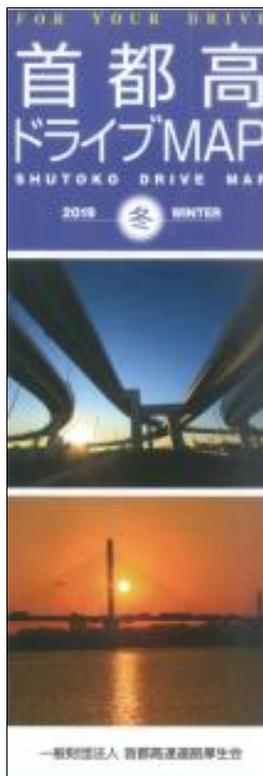
以前の「県西地区三消防署合同消防訓練」の状況

（４）経営改善

当公社作成の「広域ドライブマップ」に加え、「首都高ドライブMAP」への広告掲載など、複数媒体による広報活動の継続や、地元観光施設とタイアップしたイベント等を開催し、利用促進による増収を図ります。

また、駐車場における増収対策として、新規駐車場の開拓や、各駐車場の特色と状況に応じた運営方法の見直しを行い、地元市等と協働しな

がら利用促進を図ってまいります。



首都高ドライブ MAP



広域ドライブマップ（裏面）

6 その他

(1) 中期経営計画の見直しについて

平成 29 年度に策定された中期経営計画が 2 年を経過し、「道路維持管理計画」や「長寿命化修繕計画」の更新改訂など、経営を取りまく環境に変化が生じたことから、2019 年度に計画の一部改訂を予定しています。

(2) 役員報酬の削減について

当社は「中期経営計画」に基づき様々な利用促進策に取り組んできましたが、引き続き経営努力が必要なことから、平成 22 年 3 月から実施している、役員報酬の削減措置を継続して実施します。

2019年度(平成31年度)予算の特徴

1 基本方針A 安心安全な施設・設備の充実

(単位:千円)

(1) 耐震補強、災害・緊急時対策 (123,600)

耐震補強、災害・緊急時対策については、路線毎に計画的に実施しています。
2019年度は、真鶴道路において次のような対策を実施してまいります。

真鶴道路

[新] ア 福浦インター高波防護擁壁工事

[新] イ 福浦インター高波監視カメラ設置工事

[新] ウ 気象観測局更新工事

エ 道路災害防除工事(トンネル老朽化対策等)【受託】

(2) 事故等の防止対策 (17,000)

安全な道路交通を確保するために、次のような事故等の防止対策を実施してまいります。

真鶴道路

・トンネル側溝改修工事

(3) 道路の走行環境の維持・向上 (70,100)

快適な走行環境の維持及び向上のために、次のような補修工事をしてまいります。

真鶴道路

・安全施設等取替工事(標識更新等)

本町山中有料道路

・舗装補修等工事

三浦縦貫道路

ア 小型道路情報板更新工事

イ 橋梁伸縮装置補修工事

逗葉新道

[新] ・標識板更新工事(高速道路ナンバリング対応)

(4) 長寿命化対策等 (246,600)

平成27年度に策定した道路維持管理計画、長寿命化修繕計画に基づき、次のような長寿命化対策等を実施してまいります。

真鶴道路

ア 西換気所受配電設備更新等工事【債務負担行為】

イ トンネル換気設備分解整備工事

ウ 新吉浜橋塩害対策補修工事

エ 道路災害防除工事(トンネル老朽化対策等)【受託】〔再掲〕

4路線(点検結果に基づく、維持管理計画の策定等)

[新] ア 道路施設長寿命化修繕計画・道路維持管理計画(改訂版)策定業務委託
(本町山中有料道路、三浦縦貫道路、真鶴道路、逗葉新道)

[新] イ 道路トンネル照明設備更新予備設計業務委託
(真鶴道路、逗葉新道)

2 基本方針B 地域と連携した利用促進策の推進

(単位:千円)

- | | |
|---|-----------|
| (1) 地元自治体との連携 | (6,662) |
| 地元観光案内を掲載した広報活動を行います。 | |
| ア 当公社制作の広域ドライブマップによる広報活動
(神奈川東部、西湘・伊豆) | |
| イ 一般媒体による広報活動
(首都高ドライブMAP、地元市町広報誌) | |

3 基本方針C お客様へのサービスの充実

(単位:千円)

- | | |
|---|------------|
| (1) 新規サービスシステムの導入・拡大 | (75,000) |
| ネットワーク型ETCシステムの導入に向けた準備 | |
| (2) 利用者へのサービスの充実 | (2,938) |
| 利用者により一層便利に、また安全に安心して利用していただくため、次のようなサービスの提供をまいります。 | |
| ・ホームページの充実化
(ライブカメラの追加配置等) | |
| (3) 有料道路を知っていただくための取組 | (—) |
| 地域の方々に対する道路施設見学会等の開催 | |
| ・真鶴道路における消防訓練見学会開催 | |

4 基本方針D 経営基盤の強化

(単位:千円)

- | | |
|--|-----------|
| (1) 利用促進 | (9,262) |
| 道路関連事業者や地元と連携した各種利用促進対策を実施し、事業収入を確保してまいります。 | |
| ア 当公社制作の広域ドライブマップによる広報活動[再掲]
(神奈川東部、西湘・伊豆) | |
| イ 一般媒体による広報活動[再掲]
(首都高ドライブMAP、地元市町広報誌) | |
| ウ 有料道路4路線における利用促進事業
(スタンプラリーや地元と連携したイベント等) の拡大 | |
| (2) 駐車場における増収対策 | (—) |
| 各駐車場の特色と状況に応じた運営方法の見直しを行い、増収対策や地元市等と協働しながら利用促進を図ってまいります。 | |
| (3) 組織の活性化対策 | (3,000) |
| 全職員から新規企画案や改善案を募集し、評価のうえ実施することで、組織を活性化し生産性を高めます。 | |
| ・職員提案制度案件の実現化 | |

平成31年度

神奈川県道路公社

事業計画
予算
資金計画

(予算添付書類)

予定貸借対照表

予定損益計算書

その他参考書類

目 次

平成31年度 神奈川県道路公社事業計画	1
平成31年度 神奈川県道路公社予算	3
予算総則	3
平成31年度 収入支出予算	5
平成31年度 資金計画	6
(予算添付書類)	
平成31年度 予定貸借対照表	7
平成31年度 予定損益計算書	8
その他参考書類	
1 債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書	9
2 平成31年度 収入支出予算説明書	10
3 平成31年度 役職員定員表	14

平成31年度 神奈川県道路公社事業計画

平成31年度における神奈川県道路公社の事業計画は、次のとおりとする。

管理計画

(1) 一般有料道路

(単位:千円)

管 理 区 間	供用開始日	本年度予定収入 (1日当たり通行台数)	延長	備考
本町山中有料道路 横須賀市汐入町1丁目～横須賀市山中町	平成4年3月21日	580,854 (7,493台)	2.6km	道路整備特別措置法第10条第1項に基づく道路
三浦縦貫道路(三浦サンサンライン) 横須賀市衣笠町～横須賀市林5丁目	平成12年3月4日	504,236 (4,615台)	4.7km	同 上
真鶴道路(真鶴ブルーライン) 足柄下郡湯河原町吉浜～足柄下郡真鶴町岩	平成20年9月4日	687,494 (9,824台)	4.5km	道路整備特別措置法第15条第1項に基づく道路

(2) 一般自動車道

(単位:千円)

管 理 区 間	供用開始日	本年度予定収入 (1日当たり通行台数)	延長	備考
逗葉新道 逗子市沼間5丁目～三浦郡葉山町長柄	昭和45年4月1日	408,635 (11,165台)	2.1km	道路運送法第47条第1項に基づく道路

(3) 駐車場

(単位:千円)

事業箇所名	供用開始日	本年度予定収入
(公社保有資産の運用)		
1 汐見高架橋駐車場	平成4年4月16日	6,116
2 林高架橋駐車場	平成12年9月1日	8,487
3 上の里高架橋駐車場	平成13年1月1日	915
4 小矢部駐車場	平成21年6月1日	971
5 西逸見駐車場	平成21年9月1日	871
(借用資産の活用)		
1 寒川駐車場	昭和53年7月1日	10,445
2 長者ヶ崎駐車場	昭和54年8月6日	14,779
3 稲村が崎駐車場	昭和57年7月1日	18,595
4 滑川駐車場	昭和57年7月1日	1,726
5 大仏前駐車場	昭和57年9月1日	21,248
6 下浦海岸駐車場	昭和58年7月15日	26,632
7 下浦駐車場	昭和58年7月15日	619
8 津久井駐車場	昭和58年7月15日	4,837
9 吉浜橋駐車場	昭和61年2月25日	97,959
10 材木座駐車場	昭和61年7月1日	22,640
11 逗子海岸駐車場	昭和62年6月15日	21,151
12 森崎大橋駐車場	平成15年10月1日	4,172
13 坂ノ下駐車場	平成23年1月1日	2,746
14 旭駐車場	平成23年4月1日	18,213
合 計		283,122

(4) 受託業務

(単位:千円)

業務名	業務内容	本年度予定収入
真鶴道路 大規模修繕等事業	道路災害防除工事(トンネル老朽化対策等)	86,000

(5) 付帯事業収入

(単位:千円)

業務名	業務内容	本年度予定収入
付帯事業施設収入	休憩所営業料等	29,862

平成31年度 神奈川県道路公社予算

予 算 総 則

(収入支出予算の総額)

第1条 神奈川県道路公社(以下「公社」という。)の平成31年度 収入支出予算総額は、収入については2,616,008千円、支出については2,753,228千円と定める。

2 収入の性質別の款項の区分及び支出の目的別の款項の区分は、別紙「収入支出予算」による。

(債務負担行為)

第2条 公社が平成31年度において、債務を負担することができる事項、限度額及び年限を次のとおりとする。

(事項)料金徴収等業務委託

公社は、料金徴収等業務委託のため、1,024,974千円を限度として平成31年度、平成32年度及び平成33年度において公社の負担となる契約を、平成31年度において結ぶことができる。

(事項)駐車場管理業務委託

公社は、駐車場管理業務委託のため、120,153千円を限度として平成31年度、平成32年度及び平成33年度において公社の負担となる契約を、平成31年度において結ぶことができる。

(事項)真鶴道路 受配電設備(西換気所)更新等工事

公社は、真鶴道路 受配電設備(西換気所)更新等工事のため、159,000千円を限度として平成31年度及び平成32年度において公社の負担となる契約を、平成31年度において結ぶことができる。

(予算の弾力条項)

第3条 公社以外の者の負担に係わる下表の左欄に掲げる収入科目の金額が予算額に比して増加するときは、その増加する金額を限度として下表の右欄に掲げる支出科目に必要な経費の支出に充てることができる。

収入科目	支出科目
「業務雑収入」のうち原因者負担金	「原因者負担補修費」
「受託業務収入」	「受託業務費」

(特定預金に係る弾力条項)

第4条 次に掲げる事項については、平成30年度決算において確定する事項別の特定預金を限度として、下表の左欄に掲げる収入科目及び下表の右欄に掲げる支出科目の増額に充てることができる。

収入科目	支出科目
「退職給付特定預金収入」	「退職手当」
「有事用準備資金特定預金収入」	「維持改良費」及び「業務管理費」

(予算の流用)

第5条 次に掲げる経費は、地方道路公社法施行規則(昭和45年建設省令第21号、以下「施行規則」という。)第13条第2項に規定する予算で指定する経費とし、これらの経費の金額を相互間に流用し、又は他の経費をこれらの経費の金額に流用し、若しくはこれらの経費の金額に予備費を使用する場合は、神奈川県知事(以下「知事」という。)の承認を受けなければならない。

(項) 役職員諸給与

(項) 交 際 費

(予算の繰越)

第6条 次に掲げる経費は、施行規則第14条ただし書に規定する予算で指定する経費とし、これらの経費の金額を繰り越して使用する場合は知事の承認を受けなければならない。

(項) 役職員諸給与

(項) 交 際 費

(役職員諸給与の制限)

第7条 この予算の範囲内であっても、役職員の定員及び給与をこの予算において予定した定員及び給与の基準をこえてみだりに増加し、又は支給してはならない。

平成31年度 収入支出予算

(単位:千円)

収 入	予 算 額	支 出	予 算 額
(款)業務収入	2,581,991	(款)業務費	81,003
(項)一般有料道路料金収入	1,772,584	(項)受託業務費	81,003
(項)一般自動車道料金収入	408,635		
(項)駐車場料金収入	283,122	(款)維持改良費	649,912
(項)業務雑収入	1,788	(項)一般有料道路維持改良費	595,786
(項)受託業務収入	86,000	(項)一般自動車道維持改良費	46,576
(項)付帯事業収入	29,862	(項)駐車場維持改良費	7,550
		(款)業務管理費	643,731
		(項)一般有料道路管理費	320,726
(款)業務外収入	34,017	(項)一般自動車道管理費	147,963
(項)雑収入	3,720	(項)駐車場管理費	169,076
(項)共済立替金(県)	5,297	(項)付帯事業施設管理費	5,966
(項)退職給付特定預金収入	25,000	(款)一般管理費	435,681
		(項)役職員諸給与	230,863
		(項)管理諸費	204,658
		(項)交際費	160
		(款)業務外支出	937,901
		(項)市中銀行等借入金取扱諸費	927,383
		(項)雑支出	10,518
		(款)予備費	5,000
合 計	2,616,008	合 計	2,753,228

収 支 差 △137,220

平成31年度 資金計画

(単位:千円)

払 出		受 入	
区 分	金 額	区 分	金 額
業務費	81,003	前事業年度から繰越(※1)	820,346
受託業務費	81,003	業務収入	2,581,991
維持改良費	649,912	一般有料道路料金収入	1,772,584
一般有料道路維持改良費	595,786	一般自動車道料金収入	408,635
一般自動車道維持改良費	46,576	駐車場料金収入	283,122
駐車場維持改良費	7,550	業務雑収入	1,788
業務管理費	643,731	受託業務収入	86,000
一般有料道路管理費	320,726	付帯事業収入	29,862
一般自動車道管理費	147,963	業務外収入	34,017
駐車場管理費	169,076	雑収入	3,720
付帯事業施設管理費	5,966	共済立替金(県)	5,297
一般管理費	435,681	退職給付特定預金収入	25,000
役職員諸給与	230,863		
管理諸費	204,658		
交際費	160		
業務外支出	937,901		
市中銀行等借入金取扱諸費	927,383		
雑支出	10,518		
予備費	5,000		
翌事業年度への繰越(※2)	683,126		
合 計	3,436,354	合 計	3,436,354

※1、※2 有事用準備資金特定預金600,000千円を除く。

(予算添付書類)

平成31年度 予定貸借対照表

(平成32年3月31日)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
流動資産	710,972	流動負債	1,291,335
現金・預金	683,126	未払金等	273,193
未収金等	27,846	一年内返済予定長期借入金	1,000,000
		賞与引当金	18,142
固定資産	38,526,753	固定負債	1,295,124
事業資産	37,496,415	長期借入金	1,060,000
道路	38,463,060	退職給付引当金	150,790
道路減価償却累計額	△1,063,060	長期預り金	4,900
駐車場	346,905	PCB処理引当金	44,600
駐車場減価償却累計額	△250,490	リース債務	34,834
有形固定資産	230,406		
建物	39,127	特別法上の引当金等	14,495,540
建物付属設備	28,460	道路事業損失補填引当金	2,631,362
構築物	13,312	償還準備金	10,421,903
工具器具及び備品	26,334	特別道路管理準備金	1,442,275
機械及び装置	18,930		
土地	128,382	(負債合計)	17,081,999
リース資産	86,738		
有形固定資産減価償却累計額	△110,877	基本金	10,781,000
無形固定資産	1,055	出資金	10,781,000
投資その他の固定資産(※)	798,877		
		剰余金	11,374,726
		準備金	11,160,739
		当期利益	213,987
		(資本合計)	22,155,726
合 計	39,237,725	合 計	39,237,725

※ 有事用準備資金 600,000 千円を含む。

平成31年度 予定損益計算書
(平成31年4月1日～平成32年3月31日)

(単位:千円)

費用の部		収益の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
管理業務費	1,293,232	業務収入	2,495,991
一般有料道路管理業務費	916,512	一般有料道路料金収入	1,772,584
一般自動車道管理業務費	194,539	一般自動車道料金収入	408,635
駐車場管理業務費	176,215	駐車場料金収入	283,122
付帯事業管理業務費	5,966	付帯事業収入	29,862
		業務雑収入	1,788
一般管理費	410,681		
諸減価償却費	411,217	受託業務収入	86,000
償還準備金繰入額	399,544		
駐車場減価償却費	6,325	業務外収入	9,018
固定資産減価償却費	5,348	雑益	9,018
諸引当損	148,504		
道路事業損失補填引当金繰入損	100,472		
特別道路管理準備金繰入損	37,516		
退職給付引当金繰入	10,516		
受託業務費	81,003		
業務外費用	27,385		
支払利息	27,383		
雑損	2		
予備費	5,000		
当期利益	213,987		
合 計	2,591,009	合 計	2,591,009

その他参考書類

1 債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額
又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

(既設定及び新規設定)

事 項	限 度 額	区 分	期 間	金 額
旭駐車場 管理業務委託	24,408 千円	前年度末 までの支出 (見込)額	平成28年度 ～ 平成30年度	14,160 千円
		当該年度 以降の支出 予定額	平成31年度 ～ 平成32年度	10,248
真鶴道路 施設保守点検業務委託	258,779	前年度末 までの支出 (見込)額	平成30年度	85,235
		当該年度 以降の支出 予定額	平成31年度 ～ 平成32年度	173,544
ネットワーク型ETCシス テム検討調査	75,000	前年度末 までの支出 (見込)額	平成30年度	—
		当該年度 以降の支出 予定額	平成31年度	75,000
料金徴収等業務委託	1,024,974	前年度末 までの支出 (見込)額	平成30年度	—
		当該年度 以降の支出 予定額	平成31年度 ～ 平成33年度	1,024,974
駐車場管理業務委託	120,153	前年度末 までの支出 (見込)額	平成30年度	—
		当該年度 以降の支出 予定額	平成31年度 ～ 平成33年度	120,153
真鶴道路 受配電設備(西換気所) 更新等工事	159,000	前年度末 までの支出 (見込)額	平成30年度	—
		当該年度 以降の支出 予定額	平成31年度 ～ 平成32年度	159,000

2 平成31年度 収入支出予算説明書

(収入)

(単位:千円)

款 項	予 算 額	内 訳
業務収入	2,581,991	
一般有料道路料金収入	1,772,584	
		本町山中有料道路 580,854 三浦縦貫道路 504,236 真鶴道路 687,494
一般自動車道料金収入	408,635	逗葉新道
駐車場料金収入	283,122	
		(公社保有資産の運用) (17,360) 1 汐見高架橋駐車場 6,116 2 林高架橋駐車場 8,487 3 上の里高架橋駐車場 915 4 小矢部駐車場 971 5 西逸見駐車場 871
		(借用資産の活用) (265,762) 1 寒川駐車場 10,445 2 長者ヶ崎駐車場 14,779 3 稲村が崎駐車場 18,595 4 滑川駐車場 1,726 5 大仏前駐車場 21,248 6 下浦海岸駐車場 26,632 7 下浦駐車場 619 8 津久井駐車場 4,837 9 吉浜橋駐車場 97,959 10 材木座駐車場 22,640 11 逗子海岸駐車場 21,151 12 森崎大橋駐車場 4,172 13 坂ノ下駐車場 2,746 14 旭駐車場 18,213
業務雑収入	1,788	道路占用料、手数料ほか
受託業務収入	86,000	
		真鶴道路 大規模修繕に係る事業 道路災害防除工事(トンネル老朽化対策等)※事務費込み 86,000
付帯事業収入	29,862	休憩所営業料、自動販売機営業料
業務外収入	34,017	
雑収入	3,720	広告宣伝料収入(ドライブマップ広告掲載料)ほか
共済立替金(県)	5,297	共済組合掛金県負担分
退職給付特定預金収入	25,000	退職手当見込額(定年退職者1名)
(収入)合計	2,616,008	

(支出)

(単位:千円)

款 項 目	予 算 額	内 訳		
		節	金 額	説 明
業務費	81,003			
受託業務費	81,003			
受託建設費	81,003	真鶴道路 大規模修繕事業 道路災害防除工事(トンネル老朽化対策等)		
		工 事 費	80,676	
		工 事 雑 費	327	
維持改良費	649,912			
一般有料道路維持改良費	595,786			本町山中、三浦縦貫、真鶴道路
維持修繕費	595,783			
		工 事 費	595,783	
原因者負担補修費	3			
一般自動車道維持改良費	46,576			逗葉新道
維持修繕費	46,575			
		工 事 費	46,575	
原因者負担補修費	1			
駐車場維持改良費	7,550			
維持修繕費	7,550			
		工 事 費	7,550	駐車場
業務管理費	643,731			
一般有料道路管理費	320,726			本町山中、三浦縦貫、真鶴道路
管理施設費	2,772			
		営 繕 費	2,181	事務所内施設補修等
		機 械 器 具 費	591	自動車修理費等
管理事務所費	317,954			
		旅 費	205	職員の旅費
		印 刷 製 本 費	11,431	回数券等印刷代等
		光 熱 水 費	34,716	電気代、水道料等
		通 信 運 搬 費	4,166	電話料等
		消 耗 品 費	6,622	道路管理用資材等
		被 服 費	162	
		賃 借 料	7,859	自動車リース料等
		公 課 費	1,295	固定資産税等
		保 険 料	3,644	火災保険料等
		修 繕 費	32	備品等修繕費
		雑 費	3,149	産業廃棄物処理費
		管 理 委 託 費	244,673	道路管理等業務委託等
一般自動車道管理費	147,963			逗葉新道管理費
管理施設費	33,568			
		営 繕 費	33,191	事務所内施設補修等
		機 械 器 具 費	377	自動車修理費等
管理事務所費	114,395			

(支出)

(単位:千円)

款 項 目	予 算 額	内 訳		
		節	金 額	説 明
		旅 費	231	職員の旅費
		印 刷 製 本 費	4,379	回数券印刷代等
		光 熱 水 費	9,222	電気代、水道料等
		通 信 運 搬 費	1,467	電話料等
		消 耗 品 費	2,694	道路管理用資材等
		被 服 費	182	
		賃 借 料	3,443	自動車リース料等
		公 課 費	2,336	固定資産税等
		保 険 料	724	火災保険料等
		修 繕 費	98	回数券自販機修理代等
		雑 費	169	産業廃棄物処理費
		管 理 委 託 費	89,450	道路管理等業務委託等
駐車場管理費	169,076			
管理諸費	169,076			
		印 刷 製 本 費	70	駐車券等印刷代等
		光 熱 水 費	4,381	電気代、水道料等
		通 信 運 搬 費	846	電話料等
		消 耗 品 費	2,284	駐車場管理用資材等
		備品費(固定資産)	411	ライブカメラ購入等
		賃 借 料	90,428	土地賃借料等
		公 課 費	1,788	固定資産税等
		保 険 料	301	火災保険料等
		修 繕 費	1,077	タイムレジ等修繕費
		雑 費	1,397	夜間金庫使用料等
		管 理 委 託 費	66,093	管理委託料等
付帯事業施設管理費	5,966			
管理施設費	924			
		営 繕 費	924	休憩施設補修等
管理諸費	5,042			
		光 熱 水 費	4,448	電気代、水道料等
		消 耗 品 費	58	施設管理用資材等
		公 課 費	476	固定資産税等
		保 険 料	60	事業活動保険料
一般管理費	435,681			
役職員諸給与	230,863			
役職員給与	205,863			33名分
		基 本 給	75,195	17名分
		役職員諸手当	57,147	17名分
		嘱 託 手 当	73,521	16名分

(支出)

(単位:千円)

款 項 目	予 算 額	内 訳		
		節	金 額	説 明
退職手当	25,000			
		退 職 手 当	25,000	定年退職者1名分
管理諸費	204,658			
旅費	1,350			
		旅 費	1,350	県外旅費、職員の旅費等
事務諸費	38,533			
		諸 謝 金	1,338	公認会計士報酬等
		会 議 費	11	打合せ等会議費
		印 刷 製 本 費	150	「公社概要」印刷費等
		光 熱 水 費	1,308	電気料
		通 信 運 搬 費	2,184	電話料等
		消 耗 品 費	1,599	事務用消耗品等
		賃 借 料	16,206	事務室賃借料等
		被 服 費	101	
		保 險 料	80	自動車任意保険等
		研 修 諸 費	391	講習会等負担金
		自 動 車 維 持 費	215	
		雑 費	14,950	諸協会会費、営繕費等予算流用枠等
法定福利費	41,009			
		社会保険料負担金	21,143	健康、雇用保険等事業主負担分
		共済公社負担金	14,782	共済掛金事業主負担分
		共済立替金(県)	5,084	共済掛金神奈川県負担分
厚生費	711			
		厚 生 費	711	職員健康診断等
公課費	113,493			
		公 課 費	113,493	消費税及び地方消費税
什器備品費	238			
		備 品 費	238	旧財務会計システム一部買取
広報宣伝費	9,324			
		広 報 宣 伝 費	9,324	広域ドライブマップ印刷、首都高ドライブMAP広告、利用促進費流用枠等
交際費	160			
業務外支出	937,901			
市中銀行等借入金取扱諸費	927,383			
		借入金元金償還金	900,000	本町山中(県、市中銀行)、三浦縦貫(国交省、市中銀行)
		借入金支払利息	27,383	本町山中(県、市中銀行)、三浦縦貫(市中銀行)
雑支出	10,518			
		損 害 賠 償 金	1	損害保険免責額
		退職給付特定預金支出	10,516	前年度末所要額から今年度末所要額の差引積増額
		諸 払 戻 金	1	
予備費	5,000			
(支 出) 合 計	2,753,228			

収 支 差 △137,220

3 平成31年度 役職員定員表

区 分	人 数	備 考
役 員	3(2)	()内は、非常勤役員で外数
職 員	30	
計	33(2)	給与支弁者数 33